



行定 勲 さん

※掲載期限を過ぎたため、画像を削除しました。

阿蘇はすごく居心地のいい場所。
自分の本質が阿蘇を求めるのは、ゆったりとした時間の流れ。
ゆったりした時間を長いショットでつないでいく、
そこには特別なものは何も描かれていないけど、
自然の摂理や人生みたいなものを感じられる映画がイメージできる。

撮影場所：大観峰

阿蘇の復興を 熊本の希望の光に

行定勲氏へのインタビュー内容は、県ホームページやカタログポケットをご覧ください。

●令和2年(2020年)10月29日発行

ゆきさだ いさお
映画監督 行定勲氏

熊本県出身。2001年「GO」の第25回日本アカデミー賞最優秀監督賞受賞をはじめ、2004年には「世界の中心で、愛をさけぶ」が大ヒットを記録。熊本を舞台に撮影した「うつくしいひと」(2016)や、熊本地震後の熊本を描いた「うつくしいひと サバ?」(2017)は売上の一部を熊本復興のために寄付。最新作は、「窮鼠はチーズの夢を見る」(2020)。



県からのたよりをスマホでも
アプリ「カタログポケット」
多言語で配信中
Delivering Multi Languages